

2020年9月海洋観測結果について

8月26,28日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	13m	133.40	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

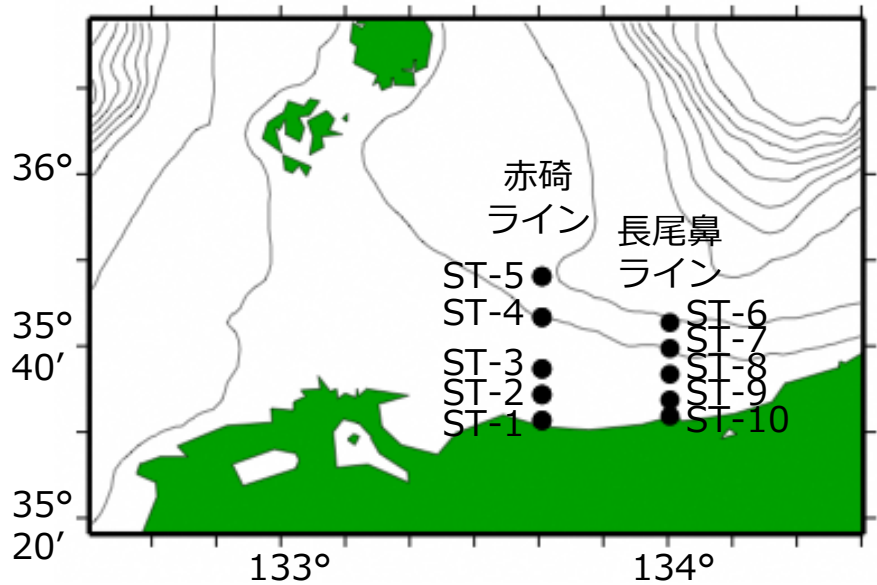
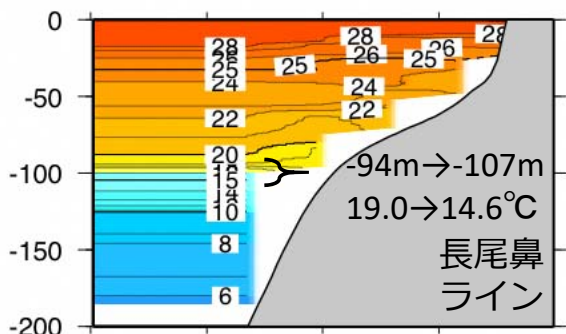
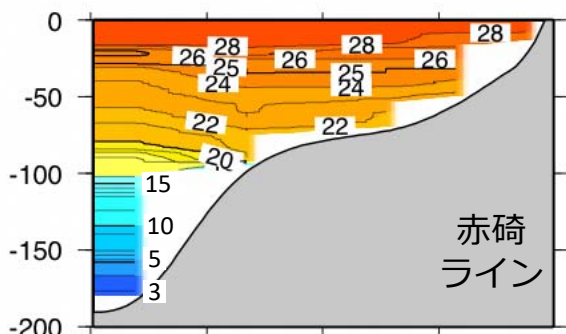


図1 観測定点

【鉛直分布図】

赤碕、長尾鼻ラインともに気温の上昇に合わせ、表水温が上昇し、28℃以上になっています。赤碕沖では冷水塊が見られST-5の最深部の水温は2.9℃でした。

また、長尾鼻ラインでは水深100m付近に水温躍層が見られました。



★ソデイカ（あかいか）情報★

8月20日（木）に鳥取県漁協賀露支所所属の2隻を用船し、漁期前試験操業を行いました。結果は3.5時間で0尾…
今までのところ、漁獲はごく僅かで、しかもサイズは胴長30cm台と小型です。

★おまけ情報★

8月31日（月）の賀露地方卸売市場で、県漁協酒津支所の漁業者がオオモンハタを水揚げしていました。暖海性の魚（南日本から琉球列島の分布）で鳥取では初記録です。



図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

【9月観測の水深帯別の比較】

赤碕、長尾鼻ラインの水温は平年よりかなり高く、50m深では2.9℃も高い結果となりました（表2）。なお、前年の観測は20日に実施しており、単純比較はできませんが、今年に比べ0.7～2.7℃低かったです（今年の水温は高い）。

表2 各調査ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m	90m
2020年	28.4	25.0	23.0	18.9	29.0	24.7	23.2	19.2
前年	-	-	-	-	-	-	-	-
2014-18年平均	26.6	22.5	20.1	17.1	26.6	22.5	20.3	17.2
平年差	1.8	2.4	2.9	1.8	2.3	2.2	2.9	2.0

【2020年6月の主要魚種の漁獲動向】

鳥取県漁獲情報システムの6月速報値から、主要魚種の漁獲量比較を行いました。総漁獲量は、前年を上回ったものの、5年平均（2015-19年）を下回りました（図3）。前年、5年平均を上回った魚種はスルメイカで、前年を上回った魚種はぶり類、サワラ、イワガキでした。キジハタは前年、5年平均を下回りました。

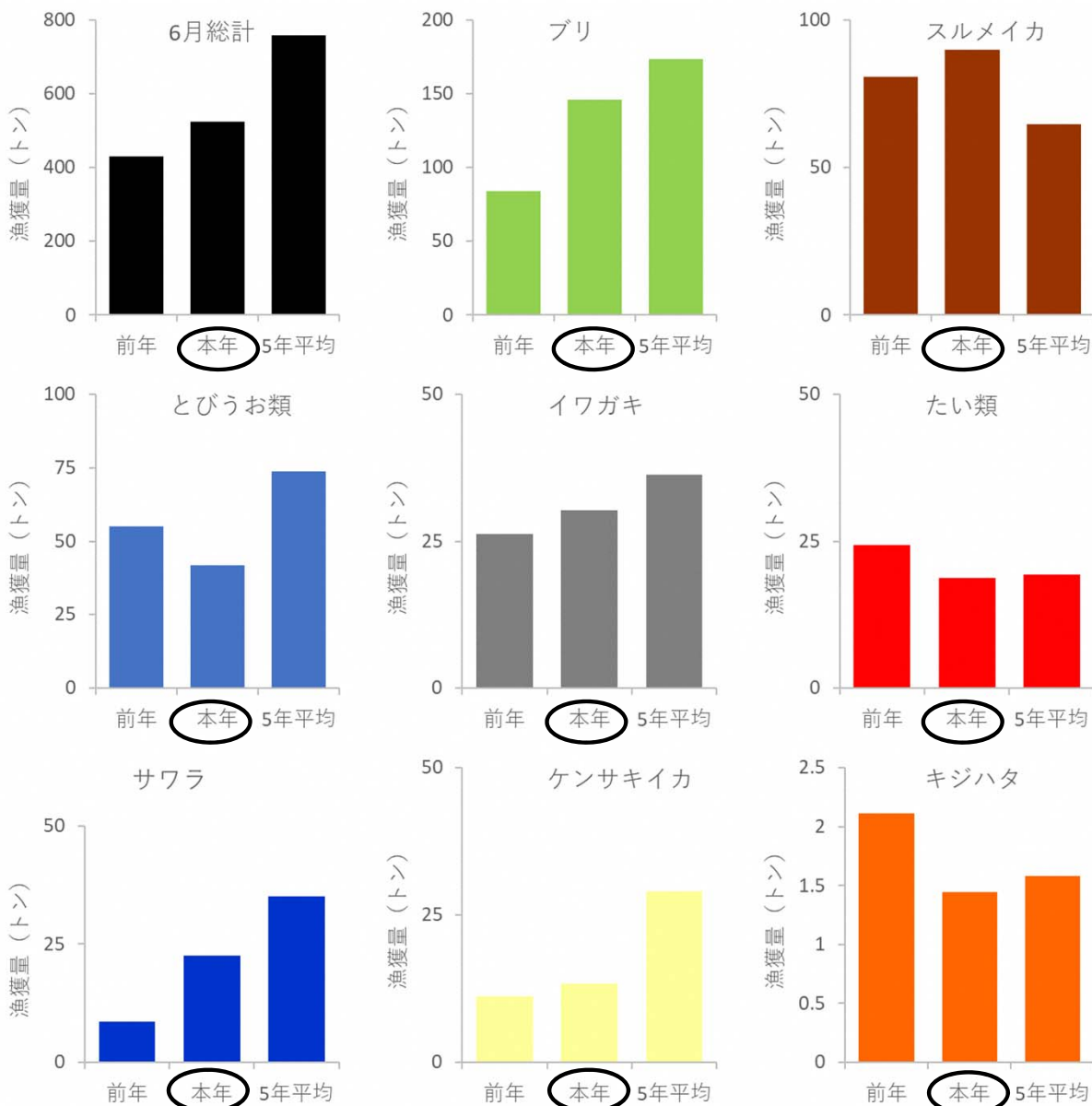


図3 6月沿岸漁業の主要漁獲物の漁獲状況